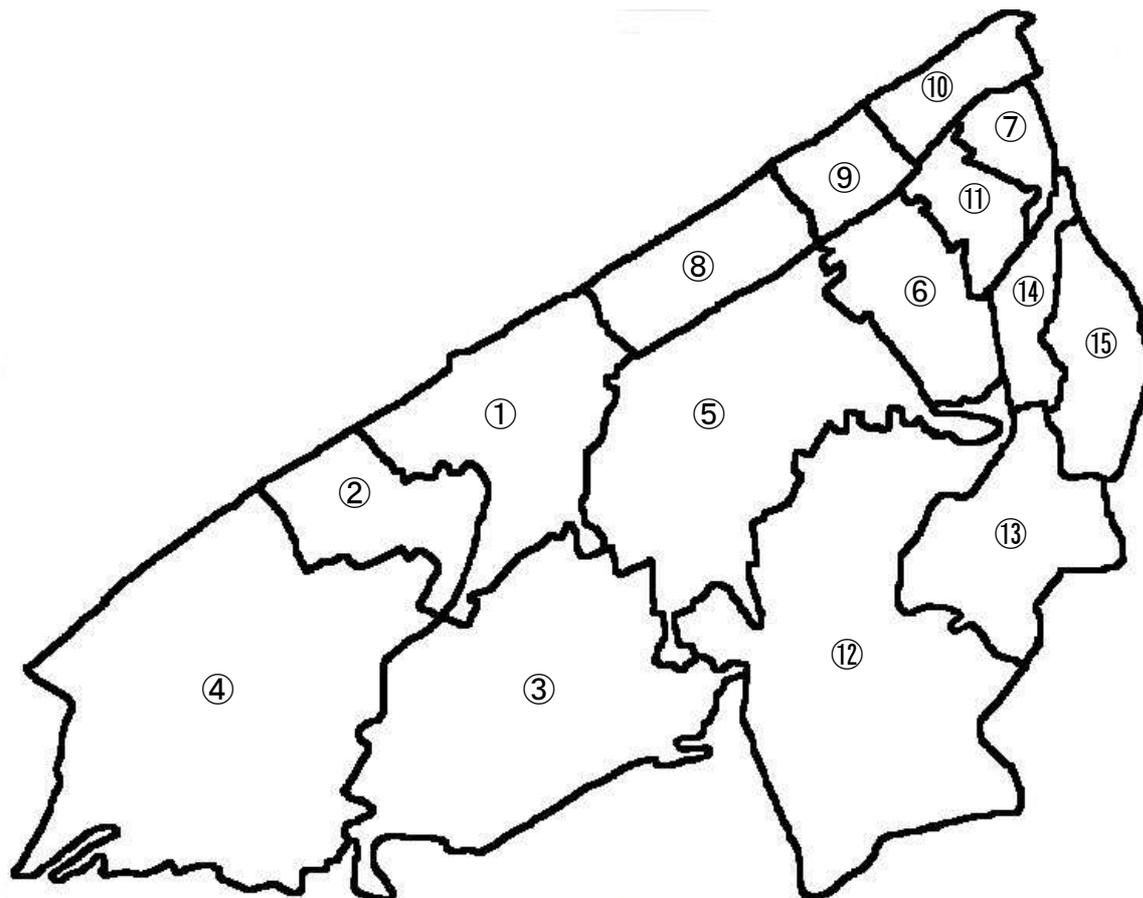


第8章 西区地域福祉計画・地域福祉活動計画

3 西区地域別（コミ協別）計画

ここでは、西区の15コミュニティ協議会ごとに地域の「現状と課題」、それを受けての「目標」と「具体的な取り組み」をまとめています。また、それぞれの地域で既
に実施されている主な取り組みを紹介しています。



コミュニティ協議会名	
① 内野コミュニティ協議会	⑧ 五十嵐小学校区コミュニティ協議会
② 西内野コミュニティ協議会	⑨ 真砂小学校区コミュニティ協議会
③ コミュニティ中野小屋	⑩ 青山小学校区コミュニティ協議会
④ コミュニティ佐潟	⑪ 小針小学校区コミュニティ協議会
⑤ 坂井輪中学校区まちづくり協議会	⑫ 黒埼南ふれあい協議会
⑥ 坂井輪小・小新中学校区 まちづくり協議会	⑬ 大野校区ふれあい協議会
	⑭ 立仏校区ふれあい協議会
⑦ 東青山小学校区コミュニティ協議会	⑮ 山田校区ふれあい協議会

※一部の地域ではコミュニティ協議会の範囲と小学校区・中学校区が一致していません。

内野コミュニティ協議会

【地域の特色】

- ◇江戸時代の最大級の工事といわれ作られた人工の川「新川」と西川の立体交差があり、新川の河口には新川漁港がある。
- ◇新川掘削後、発展してきた地域であるとともに、酒造業が盛んであった地域である。
- ◇新潟大学があるため、他の地域に比べて若い人が多い。



- **人口** 15,762人 ➤ **世帯** 7,156世帯
- **14歳以下** 1,930人 (12%) ➤ **65歳以上** 3,742人 (24%)

※H26. 3. 31 現在住民基本台帳より (14歳以下は H26. 5. 2 現在)

☆地区懇談会の開催状況 (会場:西コミュニティセンター)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月21日 (木) 14:00~	人
第2回	平成26年9月17日 (水) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・世代間で交流できる企画や場所があるとよい。
- ・自治会・町内会の役員のなり手がいない。特に会長職。
- ・地域行事や会議などへの参加が少ない。
- ・まちを活性化させるために学生ボランティアを活用したい。
- ・あいさつ運動で明るいまちにしたい。
- ・公園などの子どもの遊び場も少ない。ひまわりクラブの設備、環境を向上できないか。
- ・内野地区の子どもたちが楽しんで参加するようなイベントを企画してほしい。外に出て遊ぶ、友人と遊ぶ、楽しむ機会を増やしてほしい。
- ・学校のセーフティ・スタッフのメンバーがもっと増えるとよい。
- ・ひとり親家庭で子どもに関して困ったことが起きている。支援の方法を考えたい。
- ・空き店舗などを利用して高齢者が気軽に集まれる場所がほしい。
- ・老人クラブの構成員が少なく、会長がひとりで事務をこなしている状況。
- ・町内の空き家や空き地の管理に困っている。
- ・ごみの分別がまだ徹底されていない。特に大学生のモラルの向上を。
- ・新川・広通江川をきれいにしたい。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【西区DEアート】

内野町の有志「夢アートうちの」、新潟大学、西区役所で構成された実行委員会が主催する住民と大学とのつながりを広めるアートプロジェクト。

内野地区では、地域の商店が参加した「とうろうカフェ」やのぼりなどでまちを彩る「まちかざり」などを実施しています。

【内野盆踊り大会】

内野地区に伝わる伝統的な盆踊りを継承していくために行っているもので、平成20年からは実行委員会を立ち上げ、実施しています。

【内野地区市民大運動会】

毎年開催され、平成20年には23回目となる地域住民の運動会です。約700人が参加し、地区対抗で競技を行っていましたが、平成26年から子どもから高齢者まで全員で楽しめる競技に変更する予定で検討している。

【越後新川まちおこしの会】

「愛されて、誇れる川・新川」を実現するために、野外音楽会など開催し、新川のPR活動を行っています。また、水質調査も行っています。

☆地域の目標, 将来像

つながりと支え合いで、夢のある明るいまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい、 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家や空き店舗の借用や自治会館などを開放し、世話役を配置して多種多様な催しを実施しましょう。 ○内野駅前に、子どもから高齢者まで気軽に集える地域の拠点（居場所）をつくりましょう。 ○あいさつ運動や公園の清掃活動などを通じて、地域住民の交流を深めましょう。 ○地域行事などを通じて、地域全体で子どもたちの健全育成を図りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自治会で取り組み成果は上がっている。 ○内野駅前に集会場が完成することにより解消が見込める。 ○清掃活動に子ども達が参加すれば交流が深まるので、今後の課題と考える。
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○日ごろから班長や民生・児童委と連絡が取れる関係を築きましょう。 ○防犯パトロールを充実しましょう。 ○地域の安心・安全のためセーフティ・スタッフの増員や防犯灯の増設をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○最近、セーフティ・スタッフのボランティアが若干落ち込んでいる。今後の方法を検討中。
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協や自治会・町内会でまちに花を植える事業を継続しましょう。 ○定期的に町内清掃活動を行いましょう。 ○ごみの出し方について、自治会・町内会で繰り返し周知しましょう。 ○新川, 広通江川をみんなできれいにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会により格差がある。 ○清掃活動は良好の状態である。 ○ゴミの出し方は、最近よくなっている。
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会, 民生・児童委員, 大学などの情報が共有できるように、自治会・町内会内に専門部会を組織し、情報を発信しましょう。 ○地域の情報は回覧板などを利用して積極的に住民に周知しましょう。 ○自治会・町内会や老人クラブなどでボランティアを募集・育成しましょう。 ○中・高・大学生を地域のボランティアとして積極的に活用しましょう。 ○障がいがある人にも積極的に地域活動を担ってもらい、地域との接点を増やしましょう。 ○自治会・町内会の仕事はひとりに負わせず、みんなで協力しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年4月に、子育て支援「虹の部屋」を民児協で立ち上げた。部屋が狭く困っていたが、西出張所分庁舎内にあったひまわりクラブが移転し、その部屋を利用できるようになった。専門学校(こども福祉専門学校), 新潟大学がボランティアの派遣など協力してくれる。 ○災害時には、新潟大学へ避難する方向で、今年から訓練の予定を組む自治会が出てきている。

☆検証方法

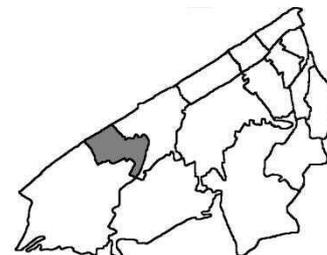
【アンケート調査と意見交換会の実施】

年1回、コミ協でアンケート調査を実施するとともに、自治会・町内会、民生・児童委員、PTA、区社協などと意見交換会を実施します。

西内野コミュニティ協議会

【地域の特色】

- ◇ J R内野西が丘駅を中心に、住宅の建設が進んでいる一方で、坂の多い地区では高齢者の転居が出始めている。
- ◇ 砂丘地を利用し、大根・西瓜等野菜の栽培が盛ん。



- 人口 8,964人 ➤ 世帯 3,494世帯
 - 14歳以下 1,176人 (13%) ➤ 65歳以上 2,241人 (25%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下は H26.5.2 現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:西コミュニティセンター)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月21日 (木) 14:00~	人
第2回	平成26年9月17日 (水) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・子どもたちが安心して自由に遊ぶ場所、高齢者が集える場所が必要。
- ・町内や隣近所でのあいさつが少ないなど、地域でのコミュニケーションが不足している。
- ・地域で開催する行事を活発にしていける必要がある。
- ・隣近所の家族構成も知らないなど、住んでいる地域の実情がよくわからない。
- ・地域の情報やコミ協の活動内容などが十分に入っていない。
- ・親子でコミュニケーションを十分にとり、信頼関係を築いていく必要がある。
- ・災害時に要援護者への手助けを行う方法が明確になっていない。
- ・夜間暗いところの防犯対策、空き地、空き家対策が必要。
- ・空き缶、タバコの吸殻、犬のフンが目立つ場所があり、清掃や緑化など地域全体での取り組みが必要。
- ・ごみの分別が守られていないことがある。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【夜間防犯パトロール】

9月から10月まで毎週2回、各自治会や支援・協力団体による夜間の防犯パトロールを実施して犯罪の防止に努めています。

【地区自主防災訓練】

毎年10月に西内野小学校を会場に、地区の自主防災訓練を行っています。

【こぼとの会】

西内野ひまわりクラブで月4回木曜日、子育てに関心のある人たちが就園前の子どもと保護者を対象に、親子の居場所づくり事業を行っています。子育ての不安や悩みの相談、友だちづくりなど、親子で安心して集うことができる場所になっています。

【平和台文庫】

西コミュニティセンター図書室で毎週土曜日、子どもを対象にボランティアによる絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行っています。また、屋外で読み聞かせなどを行う緑陰図書、新潟大学の学生が人形劇や影絵などを行うお楽しみ会なども実施しています。

【地域交流事業】

地域交流の事業として、盆踊り大会や餅つき大会などを行っています。

☆地域の目標, 将来像

住民同士笑顔でささえあう, 安心・安全なまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティセンターや自治会館・町内会館, 空き家などを活用し, 気軽に集まれる交流の場をつくりましょう。 ○みんなであいさつをして, 笑顔で明るいまちづくりをすすめましょう。 ○住民が多く参加できる行事や活動を行い, 交流と親睦を深めましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時に要援護者を支援できるよう, 地域での体制づくりをすすめましょう。 ○隣近所で声をかけあい, 高齢者や子どもの見守りなどに役立てましょう。 ○防犯パトロールとともに危険箇所の点検を行い, 地域の安全を守りましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で一斉清掃や花を植える活動を行い, 住みよく緑がいっぱいなまちにしましょう。 ○ごみの分別方法を定期的に確認し, ごみステーションは地域できれいにしておきましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協, 自治会・町内会だよりの発行や掲示板の設置により, 地域情報の周知と共有をはかりましょう。 ○コミ協, 自治会・町内会と民生・児童委員, 各種団体などが情報交換できる場をつくり, 連携を深めましょう。 ○町内・班での話し合いを活発にし, 地域活動に参加する人を増やしましょう。 ○子どもと一緒に遊んだり, 行事に参加したりするボランティアを確保しましょう。 ○子どもの頃からボランティア活動に参加できるようにしましょう。 	

☆検証方法

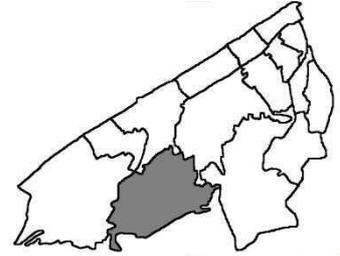
【コミ協役員会で検証】

コミ協の役員会で話し合いにより検証を行います。

コミュニティ中野小屋

【地域の特色】

- ◇中野小屋村，河西村，新通村（一部）の3村が明治34年に合併し，中野小屋村として発足。昭和36年に新潟市と合併。
- ◇ほぼ稲作単作の田園地帯で，その多くが兼業農家。近年は畑作も盛んに行なわれている。
約1,400世帯が居住。



- 人口 4,423人 ➤ 世帯 1,596世帯
 - 14歳以下 467人 (11%) ➤ 65歳以上 1,243人 (28%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下はH26.5.2現在)

☆地域別座談会の開催状況（会場：西コミュニティセンター）

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月21日（木）14:00～	人
第2回	平成26年9月17日（水）14:00～	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・地域の運動会が無くなって寂しい。
- ・若い世代が外へ出て行き高齢化が進んでおり，残った若年層も地域のことに無関心であるため，自治会・町内会，婦人会，老人クラブ，消防団などの担い手が減少している。
- ・自治会・町内会長の任期が3ヶ月と短く，担う役割が多い。
- ・不審者を見かけることが多々あるが，防犯灯やセーフティ・スタッフが不足している。
- ・西川，新川の川岸へのごみ不法投棄が多い。
- ・地域の道路が他地域居住者の通勤時の抜け道になっており，危険である。
- ・公共交通機関がバスのみであり，区バスを含め路線数や本数が非常に少ない。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【親子三代ふれあい会】

毎年10月に，75歳以上の住民を招待して，幼児，小中学生，大人，高齢者が中野小屋中学校体育館に一堂に集まり交流しています。平成20年で第11回目を数え，過去最高の600人以上が参加しました。

【ふれあい給食会】

毎年2月に2回，各自治会から2～4人の高齢者を招待し，保健所の指導のもと簡単な運動を行い，地域のグループがつくった食事を召し上がってもらっています。また，ひとり暮らしの高齢者には民生委員から食事を配達し喜ばれています。

【瑞穂祭】

毎年10月に新潟みらい農協中野小屋支店を会場として，小中学生と住民を対象とした文化祭を開催しています（中学校と同時開催）。餅つきコーナー，ポップコーン・綿あめの無料コーナー，画・書・写真の展示，農機の展示など，地域を挙げての文化祭です。平成20年は500人以上が参加しました。

☆地域の目標, 将来像

すべての人々が支え合い いきいきと暮らせる中野小屋

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい、 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○集落事務所や学校の空き教室など既存の施設を、高齢者と若い世代の双方が楽しくだんらんで居場所として活用しましょう。 ○小中学生と大人とが集まって話し合いができる機会や若い世代が地域参加できる場をつくりましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○親子三代ふれあい会 ○瑞穂祭
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○不審者情報の伝達に、各自治会・町内会のネットワークを活用しましょう。 ○不審者や暴走車対策として、警察と連携してパトロールを強化しましょう。 ○セーフティ・スタッフの増員を図り、また防犯灯設置補助などを活用し子どもたちの安全を守りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員との連携
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会内で話し合い、生活環境の問題点を明らかにしていきましょう。 ○区バスの増便や内野地区方面へのバス網の整備について積極的に働きかけましょう。 ○西川の清掃回数を増やし、子どもたちにポスターをつくってもらい地域に掲示するなどの工夫で環境美化に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○内野四ツ角を経由する区バスの要望 ○平成26年より「西川ごみあげ」で清掃回数を増やしている。
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会内だけでなく、自治会・町内会を横断した会合を持つようにして課題を共有しましょう。 ○社会の最小単位である家庭内でのコミュニケーションを増やしましょう。 ○自治会・町内会の会長や役員の任期、役割分担を見直しましょう。 ○定年退職した人は積極的に地域の役割を担いましょう。 ○農業地帯であるため、後継者・農業の担い手を育てる場をつくりましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治連 正・副自治会長研修の実施 ○自治会会議での話し合い。 <p>→○農家が多いので定年がない。</p>

☆検証方法

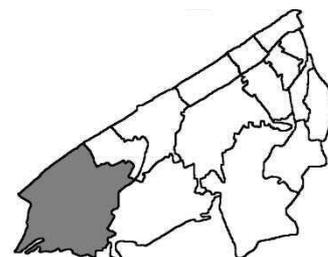
【住民アンケートの実施】

年に1回程度、コミ協、自治会・町内会が住民アンケートを実施します。アンケートの内容の検討や作成は区役所と協力して行います。

コミュニティ佐潟

【地域の特色】

- ◇ラムサール条約登録湿地「佐潟」がある。
- ◇北国街道の旧家で明治天皇がご休憩された「中原邸」がある。
- ◇ブロック塀のないニュータウンと古くからのまちが共存している。



- **人口** 5,713人 ➤ **世帯** 1,884世帯
 - **14歳以下** 808人 (14%) ➤ **65歳以上** 1,399人 (24%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下はH26.5.2現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:西コミュニティセンター)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月21日 (木) 14:00~	人
第2回	平成26年9月17日 (水) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・高齢者、子どもたちの居場所が欲しい。
- ・高齢者のお茶の間広場をつくりたい。
- ・高齢者の交通手段の確保が必要。
- ・犯罪増加の防止策をどうするのか。
- ・災害避難所マップが欲しい。
- ・防犯灯の整備が必要。
- ・地域外の人のごみ捨てをどう防ぐか。
- ・ごみの不法投棄 道端や原っぱにごみが捨てられている。
- ・ウェルサンピア新潟の利用価値を広め、地域住民にはもっと優遇して欲しい。
- ・佐潟の水質改善が必要。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【クリーンアップ活動】

佐潟の潟普請、国道402号のクリーンアップ活動を行なっています。

【地域のまつり】

佐潟まつりの他、みずき野、四ツ郷屋の各地域でまつりを開催しています。

【住民バスの運行】

内野営業所からJR越後線赤塚駅まで運行しています。

☆地域の目標, 将来像

赤塚・みずき野・四ツ郷屋の 3地区が協同して作る安心, 安全な地域

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ウェルサンピア新潟を利用しましょう。 ○自治会・町内会の集会所, 公民館を有効活用しましょう。 ○学校開放を利用し, スポーツで交流を図りましょう。 ○高齢者が集まって話しをする場所づくりをしましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や子どもたちの見守り隊をつくりましょう。 ○防犯対策を検討しましょう。 ○夜間パトロールを続けましょう。 ○災害避難所マップを作り配布しましょう。 ○街灯の整備は自治会に相談しましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外の人のごみを捨てにくい環境を作りましょう。 ○不法投棄, 地域外の人のごみ捨ては, 地域で監視していきましょう。 ○佐潟のクリーンアップ活動を継続していきましょう。 ○高齢者の交通手段を検討していきましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○広報紙を作成し, 全世帯に配布しましょう。 ○広報活動をできるだけ頻繁に行いましょう。 ○コミ協の会議などで, 地域の課題を話し合いながら, 団体間の連携を図りましょう。 ○各地区の情報を発信していきましょう。 ○佐潟まつり等で, ボランティア活動をしてくれる人を募りましょう。 ○赤塚・みずき野・四ツ郷屋の3地区から担い手を発掘しましょう。 	

☆検証方法

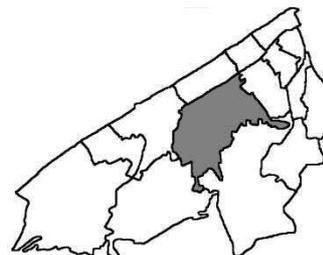
【コミ協で会議を開催】

コミ協の年度末の役員会で検証します。

坂井輪中学校区まちづくり協議会

【地域の特色】

- ◇住宅地と農地が共存し、朝市や文化活動で農村と住宅地区の交流が盛んである。
- ◇西区で人口が最多（約 25,000 人）のコミ協で、地域内の福祉活動が以前から盛んである。
- ◇既存住宅地の高齢化と新興住宅地の人口増加が進んでいる。



- 人口 24,954 人 ➤ 世帯 10,275 世帯
 - 14 歳以下 3,650 人 (15%) ➤ 65 歳以上 6,465 人 (26%)
- ※H26. 3. 31 現在住民基本台帳より（14 歳以下は H26. 5. 2 現在）

☆地域別座談会の開催状況（会場：西区役所）

回	日時	参加人数
第 1 回	平成 26 年 8 月 28 日（木） 10:00～	人
第 2 回	平成 26 年 9 月 22 日（月） 14:00～	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・保育の悩みなど子育てのサポートが必要な保護者が多い。
- ・授産施設等の物資の販売にさらなる協力が必要。
- ・独自の調査で高齢者の約 10%が独居で、見守り、支援が求められる。
- ・ごみ出しの支援が必要な高齢者が多い。
- ・孤立解消のため、地域の茶の間活動を増やしたいが、場所の確保が支障になっている。
- ・災害時要援護者を地域で支援する仕組みが求められる。
- ・障がい者が車椅子で外出するには危険箇所が多く、駅も単独で利用できない。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【安心安全なまちづくり活動】

防災訓練、火の用心一声運動の実施、災害時緊急避難マニュアルの発行をしています。また、通学路の防犯灯を毎年増設しています。

【地域の子育て環境の充実】

子どもの遊び場「坂井輪プレーパーク」事業を開催しています。
ザリガニ取り大会など子どもが自然と触れ合う事業を開催しています。
寺尾地下道に子どもの絵画（幼稚園、保育園、小中学校）を展示しています（年間 6 回）。

【地域を花で飾る活動】

区役所や駅などに花プランターを設置し、春と秋に植え替えています。

【一番堀の水質浄化をめざした活動】

一番堀の土手にビオトープを作り、ホタルを飼育し、産卵にも成功しました。
自治会で泥上げや掃除を実施し、ごみ不法投棄対策の看板を設置しました。

【子育て応援施設ドリームハウス】

親子の居場所づくりとして平成 12 年に開設、地域の子育てサポート、くつろぎの場になっています。

【さかいわ健康まつり】

家族の健康づくりを中心とした楽しみながら参加できる地域イベントを昭和 63 年より毎年 11 月に坂井東小学校で開催しています。

【高齢者を支える担い手の育成と見守り体制づくり】

地域包括ケアシステム構築の一環として、地域で高齢者を支える仕組みづくりを行います。

☆地域の目標, 将来像

ネットワークで安心の地域づくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援の場を地域に増やしましょう。 ○老人クラブ, 自治会・町内会, 区社協などが開催している地域の茶の間活動を増やしましょう。 ○保育機関と保護者が情報を共有・発信し, 地域の子育てネットワークをつくりましょう。 ○高齢者への施策についての情報を共有し, 支えあいのネットワークをつくりましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○要援護者に対する協力, 支援をすすめましょう。 ○子どもや高齢者を守るための見守りネットワークをつくりましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ出し, 除雪などが困難な人を支援しましょう。 ○当事者の意見を反映したバリアのない環境づくりに努めましょう。 ○地域内の障がい者授産施設の活動を支援しましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内の相談窓口マップをつくりましょう。 ○地域の福祉事業者を活用しましょう。福祉事業者は地域住民に開かれた相談窓口を設置しましょう。 ○地域福祉の課題解決の要となる人材を育成しましょう。 ○行事などの情報を地域に提供し, ボランティアの参加を促しましょう。 	

☆検証方法

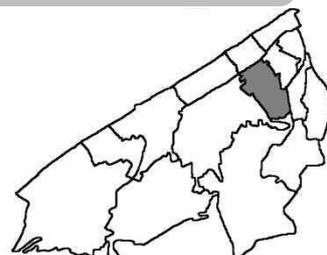
【まち協で検証】

2ヶ月に1回程度のまち協福祉部会および年1回のまち協総会で検証します。

坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

【地域の特色】

- ◇丘陵地と広大な住宅地域がある。
- ◇小新梅田地区には大型ショッピングセンターがあり、アパートを含む住宅が急増している。
- ◇一小・一中学校区で地域の結束力が強い。



- **人口** 14,847人 ➤ **世帯** 6,303世帯
- **14歳以下** 1,832人 (12%) ➤ **65歳以上** 4,008人 (27%)

※H26. 3. 31 現在住民基本台帳より (14歳以下は H26. 5. 2 現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:西区役所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月29日 (金) 14:00～	人
第2回	平成26年9月25日 (木) 14:00～	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・老人会の集会場所、子どもの遊び場所、障がい者の集いの場などが不足している。だれもが気軽に集まれる場が必要。
- ・高齢者の交流がないので、高齢者が社会参加する場づくりが必要。
- ・隣近所との交流が少なく、住民の氏名、年齢がはっきりしないため、活動に困る。
- ・自治会と民生委員との情報の共有が必要。
- ・子育て支援について、地域の協力が必要。
- ・自治会長や役員になる人がいない。
- ・高齢者を地域で見守る体制が必要。
- ・災害時における自治会・町内会、個人の役割を明確にする必要がある。
- ・自主防災組織のない地域の対応を考える必要がある。
- ・セーフティ・スタッフの拡大が必要。
- ・ごみ出しマナーが守られていない。清掃活動や放置自転車対策など周辺環境の美化が必要。
- ・あけぼの公園には、災害時用の簡易トイレが設置されたが周知されていない。
- ・要援護者に対する災害時の対策とプライバシーの問題。
- ・災害時には学校との連携が必要。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【ふれあい夏祭り・餅つき大会】

坂井輪小学校を会場に地区スポーツ振興会、小・中学校PTA、青少年育成協議会の共催で毎年8月に「地域ふれあい夏祭り」、2月に「地域ふれあいもちつき大会」を開催しています。いずれも世代交流事業として定着しています。

【西川一斉清掃】

平成13年より、毎年7月最終日曜日に西川の一斉清掃作業に参加しています。

【自主防災訓練】

毎年10月に坂井輪小学校にて自主防災訓練を行っており、約600名もの参加があります。この訓練では、心肺蘇生の講習やリヤカーを使つての訓練、炊き出し訓練などを行い、地域住民の交流も深めています。

【西川桜堤】

西川堤防の遊歩道には、西川緑地愛護会が植樹を行った桜並木があります。毎年桜の時期になると雪洞(ぼんぼり)を設置し、新しい桜の名所になっています。

☆地域の目標, 将来像

住民総出のまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい、 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○集会所がない自治会・町内会は古紙回収などの地域活動や地元企業、行政などと協力し、集会所を設置しましょう。 ○学校の空き教室が利用できれば地域活動の拠点としましょう。 ○自治会・町内会と福祉活動の関係者、住民同士の交流の機会をつくりましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集会場がない自治会が多く、隣り合わせの自治会が共同で借りるなど案は個々に出るがまとまらない。 ○2年後に小新中学校にコミュニティ協議会の専用の部屋ができる予定。 ○ある町内では元気なお年寄りが集まり社協の援助をいただきながら楽しい時間を過ごす工夫が行われている。
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○中高生や地元企業、学校などの協力を得て地域の日々の生活の見守り体制、災害時などの連携体制をつくりましょう。 ○セーフティ・スタッフを増員し、子どもの安全を住民全体で見守りましょう。 ○警察などと連携したパトロールを実施しましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会を通して各家庭にモラルの向上を訴えましょう。 ○各町内に予算をとり、「花いっぱい運動」を起こして、まちを明るくしましょう。 ○ごみ出しのマナーについては、事あるごとにPRしましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会と民生・児童委員との連携を深めましょう。 ○自治会・町内会報を作成し、班長を通じて全戸配布して自治会・町内会内での情報を共有しましょう。 ○多くの人が自治会・町内会活動に参加しやすい仕組みをつくりましょう。 ○だれもが参加しやすいよう地域団体の組織や事業の見直しを行い、地域活動の輪を広げましょう。 ○自治会・町内会役員経験者は顧問や相談役になり、アドバイスをしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年1回、自治会長と民生委員が集まり情報交換会が行われている。年1回では自己紹介で終わってしまい、情報の共有に至るまでの話し合いにはならない。 ○ある町内では担当民生委員を招き、民生委員等の活動について説明などなされている。 ○ある町内では総会に民生委員を招き紹介している。

☆検証方法

【検証会議の開催】

まちづくり協議会の役員会で検証会議を開催します。

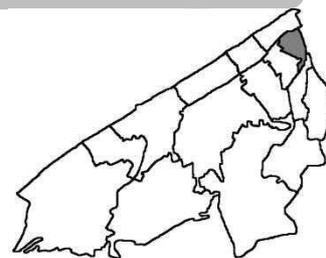
現状・課題（全般）

- ・当まちづくり協議会は、熱心な自治会も多いが、32自治会のうち11自治会が1年交代のため、全ての情報が伝達されにくい。
 - ・自治会長はもっとも多忙な長で自分の自治会を運営することだけで精一杯だと思う。
 - ・まちづくり協議会員も自治会長との兼任がほとんどで、それぞれの行事についてもその都度招請され、大変なことだと思う。
 - ・それでも当まちづくり協議会はことのほかうまくいろいろなことが運営されてきたと思う。
 - ・今年度から新まちづくり協議会会長のもと、前向きな前進が見られると期待している。
-
- ・何と言っても集会所が近くにあれば、集まりやすく、防災、高齢化、少子化、障がい者についての、話し合いもたびたび行うことができると思う。
 - ・防災ひとつにしても、自治会で話し合われたことを聞いたことがない。
 - ・ほとんどの人が何処へ逃げればいいのか、勝手に判断しているようだ。
 - ・防災マップの早急な配布が待たれる。

東青山小学校区コミュニティ協議会

【地域の特色】

- ◇ JR 青山駅，大型ショッピングセンター，大小飲食店などがあり，青山公園，平島公園など，公園が多い閑静な住宅地。
- ◇ マンションなど，集合住宅の居住者が多く全住民数の約 40% を占めており，なお増加傾向にある約 3,900 世帯を有するコミ協。



- **人口** 10,185 人 ➤ **世帯** 4,407 世帯
 - **14 歳以下** 1,487 人 (15%) ➤ **65 歳以上** 2,054 人 (20%)
- ※H26. 3. 31 現在住民基本台帳より (14 歳以下は H26. 5. 2 現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場: 西区役所)

回	日時	参加人数
第 1 回	平成 26 年 8 月 29 日 (金) 14:00～	人
第 2 回	平成 26 年 9 月 25 日 (木) 14:00～	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・ 公民館や自治会館，老人憩の家がなく，世代間交流や高齢者の生きがいづくりに支障あり。
- ・ 転勤族や核家族が多く，また戸建住人とマンション住人との近所づきあいが希薄である。
- ・ 地域に子育てや教育に関する意識が高い保護者が多い。
- ・ 東青山小と自治会とのつながりが密接で，行事への参加者やボランティアが多い。
- ・ 子どもが小さいうちは近隣との付き合いが多いが，中高生になると途端に激減する。
- ・ 子どもたちを見守りしてくれる人や，消防団員になってくれる人が年々減ってきている。
- ・ 自転車へのいたずらや盗難が多いのに，地域に交番がなく不安である。
- ・ 防災組織への各自治会からの協力が得られない場合がある。
- ・ 家の敷地や公園，河川敷等に猫や犬のフンや空き缶などが不法投棄されている。
- ・ ごみの分別ができなかったり，捨てに行く体力がない高齢者が増えている。
- ・ 各種店舗が身近にあり買い物がしやすい。
- ・ 歩道に段差や電柱が多く，歩道のバリアフリー化が遅れている。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【東青山すくすく広場】

子育てに関心のある人が，イオン新潟青山店 2 階のコミュニティ広場で月に 4 回，金曜日の午前 10 時から 12 時まで，未就学児とその保護者を対象に親子の居場所づくり事業を行っています。子育ての不安や悩みを相談したり，子育てを通して友だちをつくったりでき，子どもが安心して集うことができる場所になっています。

【東青山いこいの広場】

イオン新潟青山店 2 階のコミュニティ広場で，地域住民のお互いのふれあいの場，地域のお茶の間として「東青山いこいの広場」(自由スペース，月 3 回開催)，初歩のパソコン教室 (月 2 回開催)，絵手紙教室 (年 6 回開催)，絵画教室「楽画季の会」(月 2 回開催)，マジックショー (年 3 回開催)，体験しよう「折り紙」(年 3 回開催) などを実施しています。

【東青山ふれあい祭り】

毎年 9 月に東青山小学校のグラウンドで東青山楽園キッズが主となり，PTA，コミ協，スポーツ振興会との共催で開催しています。約 2,500 人が参加し，子どもたちの和太鼓で始まり，綿あめ・ポップコーンや水ヨーヨー釣りなども出店し，夕方にはやぐらを中心に盆踊りで，大人も子どもも大いに楽しんでいます。

【合同防災訓練】

年に 1 回東青山小学校の体育館において，学校，コミ協合同で，避難訓練，アルファ米の炊き出し訓練，救急法の講習会を実施しています。

☆地域の目標, 将来像

子どもも大人も”幸”齢者もだれもが 安心・安全に暮らせるまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○空き教室を活用したり, 空き店舗や空き家を借り上げ, 地域の拠点・集会所として積極的に活動を行いましょう。 ○町内祭りや子ども会行事など, 人の集まる機会をつくって地域を活性化し, 高齢者と子どもとの交流を積極的に進めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イオンコミュニティ広場の活用 ○東青山ふれあい祭 ○東青山もちつき大会 ○お茶の間サロン
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○向こう三軒両隣の親睦を図り, 安否確認を徹底しましょう。 ○自主防災組織を積極的に結成しましょう。 ○防犯グループを立ち上げ巡回しましょう。 ○コミ協で安全マップ(災害時の避難場所や連絡先)を作成し, 各家庭に配布しましょう。 ○防犯灯を増設して夜でも安心して歩けるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災会の立ち上げ ○防犯パトロール ○地域安全マップの配布 ○防犯灯の増設
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○古紙集団回収を積極的に実施しましょう。 ○花いっぱい運動を各地域で実施し, 環境美化と地域活動の促進を図りましょう。 ○ゴミの不法投棄, 犬のフン放置などの注意喚起のための看板設置を推進しましょう。 ○車中心の社会から歩行者中心のまちづくりをしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全パトロール ○花いっぱい運動(公園等)
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○民生・児童委員と自治会との連携をよりすすめます。 ○回覧板, 掲示板を有効活用し, こまめに広報を行いましょう。 ○コミ協, 自治会役員のレベルアップ研修やボランティア講座の充実を図りましょう ○自治会に子どもの意見を取り入れたり, また学生の力を借りたりして自治会活動を活性化しましょう。 ○多くの人に地域活動に関心を持ってもらう工夫をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協・民児協・自治会の連携 ○講演会, 講習会の実施 ○「コミ協だより」を年4~6回発行 ○告知板の整備

☆検証方法

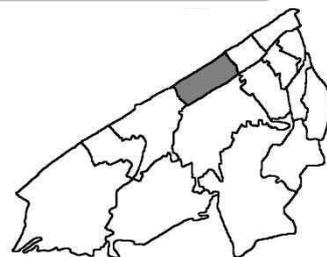
【情報交換会議の実施】

年に1~2回程度, コミ協, 自治会, 民生・児童委員, 学校, PTA, 楽園キッズ, 老人クラブ, 自主防災会, 防犯協, 防火連などが一同に集まった会議(情報交換)を行ないます。

五十嵐小学校区コミュニティ協議会

【地域の特色】

- ◇寺尾中央公園や海岸の保安林など緑地に恵まれている。
- ◇住宅開発が新潟地震以後、急速に進んだ。
- ◇教育機関や医療・福祉施設が充実している。



- **人口** 15,469人 ➤ **世帯** 6,764世帯
 - **14歳以下** 1,768人(12%) ➤ **65歳以上** 4,247人(27%)
- ※H26.3.31現在住民基本台帳より(14歳以下はH26.5.2現在)

☆地域別座談会の開催状況(会場:西区役所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月28日(木) 10:00~	人
第2回	平成26年9月22日(月) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・高齢者の集う場所が身近になく、孤独な生活を送っている。
- ・子どもたちが下校してからの居場所が少ない。
- ・高齢者と障がい者の家族を訪問するときの対応が難しい。
- ・地域の住民間のコミュニケーションが薄い。
- ・育児の連携が不足している。
- ・ボランティアが必要な人と、やりたい人とのマッチングがうまくいかない。
- ・住民に地域のために何か役立つ役割を担うという意識が低い。
- ・元気な高齢者にセーフティ・スタッフなどでもっと活躍してほしい。
- ・空き家や昼間不在の家庭が増えて、治安が悪化している。
- ・無秩序な開発から道路が狭く、行き止まりが多いため、災害時が心配。
- ・道路設備が未整備の地点が多い。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【いからしふれあいフレンドスクール】

五十嵐小学校で週2回、コミ協がボランティアを募集して運営に携わり、一輪車、読書など、子どもたちが放課後を楽しく過ごせる活動の場をつくっています。

【ふうせんクラブ】

子育てに関心のある人が、五十嵐コミュニティハウスで月4回、火曜日午前10時から正午まで、未就学児とその保護者を対象に親子の居場所づくり事業を行っています。

【さわやかウォーキング】

五十嵐小学校を出発、到着点とする約5.7kmコースで健康づくり、多世代交流の一環として実施しています。約100人の参加があり、盛大に行われています。

【坂井輪まつり】

寺尾中央公園において、坂井輪商工振興会の主催で行われ、約100店舗のフリーマーケットや小・中学生によるステージ演奏、クイズ大会やバルーンアートなどで賑わっています。

☆地域の目標, 将来像

明るく健康的で安心安全な みんなの住みたいまち

☆解決策と期待される担い手

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい、 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○寺尾中央公園や寺尾荘をもっと活用しましょう。 ○コミュニティハウスを高齢者と子どもがともに交流できる場所にしましょう。 ○地域の茶の間や集会の場に空き家を利用できるか検討しましょう。 ○フレンドスクール、ひまわりクラブ、ふうせんクラブなどの活動を支援しましょう。 ○みんなを動かす地域の祭りやサークル活動をつくりましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に備え、障がい者や高齢者を支援する仕組みをつくりましょう。 ○いつでも助け合いができるよう、「向こう三軒両隣」の関係を深めましょう。 ○セーフティ・スタッフ活動を活発化しましょう。 ○地域の安全マップを活用しましょう。 ○自治会・町内会の防災訓練に学校や企業の参加を促しましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○狭い道路などの現場を調べ、防犯灯や標識の設置をすすめましょう。 ○寺尾中央公園の整備、活用について地域で話し合い、市に提案しましょう。 ○公共の場所の環境を維持、改善するため、利用者の意識を高めましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○民生・児童委員と自治会・町内会の連携を強めましょう。 ○コミ協、自治会・町内会の広報誌に地域の情報を積極的に掲載しましょう。 ○高齢者や退職した人の知識、技術を地域に役立てましょう。 ○自治会・町内会の役員に女性や若い世代が参加しやすいようにしましょう。 ○地域全体で子どもたちを育てるために小、中、高校生にも行事の運営に参加を促しましょう。 	

☆検証方法

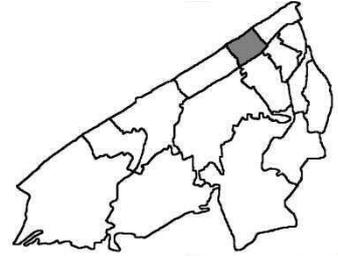
【アンケートと班会議】

年1回、コミ協が住民にアンケートを実施し、自治会・町内会の班会議でも意見を聞き、検証します。

真砂小学校区コミュニティ協議会

【地域の特色】

- ◇海岸に面している砂丘地で坂が多く、昭和30年代に造成された地域のため道幅は狭く、袋小路も多い。
- ◇隣接地域も含め、病院が多く、短期大学がある。
- ◇海水浴場があり、夏には多くの人でにぎわい、「夕日コンサート」も開催される。



- **人口** 10,141人 ➤ **世帯** 4,632世帯
 - **14歳以下** 1,002人 (10%) ➤ **65歳以上** 3,296人 (33%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下はH26.5.2現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:西区役所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月28日(木) 10:00～	人
第2回	平成26年9月22日(月) 14:00～	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・高齢者の一人暮らしが増えているため、高齢者が集える場所が身近にあったら良い。
- ・高齢者と子どもたちがふれあえる場所が欲しい。
- ・コミ協や自治会など若い人にも中心になって欲しいが、仕事などが忙しく難しい。
- ・自主防災組織の立ち上げがされているが、人により意識のずれがあるのではないかな。
- ・非常時、日常にかかわらず一人暮らし高齢者への支援対策が必要。
- ・小・中学生の登下校時の安全に不安である。
- ・近所に誰が住んでいるのかわからないことがあり、不安である。
- ・ごみを投げ捨てる人、犬のフンを放置する人などモラルのない人がいる。
- ・高齢者の健康維持のため、専門家から食事の指導などをしてもらいたい。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【清掃活動】

公園清掃、植栽、空き地の雑草刈り、下水道の清掃などを各自治会・町内会で随時行っています。また、海の日には地域全体で海岸清掃も行っています。

【各種町内行事】

バーベキュー大会、地引き網大会、餅つき大会、夏祭り、納涼会などを行っている町内があります。また、子ども会ではクッキングスクール、レクリエーション、スポーツフェスティバル、ラジオ体操、古紙回収なども行われています。

【まさご市民大学講座】

~~講師を招き、新潟の風土などを学ぶことにより、多くの人から地元のことをより深く知ってもらうために、コミ協と真砂小学校PTAの共催で行っています。~~

☆地域の目標, 将来像

みんなで支えあい, だれもが安心して暮らせるまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の空き教室, 空き家などを有効活用し, 地域の拠点としましょう。 ○高齢者のために小さなグループのお茶のみ会を開催しましょう。 ○住民のあいさつ運動を実施し, コミュニケーションを活発にしましょう。 ○真砂会館をコミュニティハウスの位置づけで改築しましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織の活動を広報誌などで周知し, 地域の防災意識を高めましょう。 ○災害に備えて要支援者リストを町内ごとに作成し, 援護体制を確立しましょう。 ○地域をパトロールするボランティアを導入し, 犯罪の抑止や子どもたちの登下校の安全を支える運動を実施しましょう。 ○高齢者と常にコミュニケーションをとり, 安否確認できる環境, 高齢者同士が支えあえる環境をつくりましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○住環境の意識高揚のための情報提供, 各種講習会を開催しましょう。 ○ごみの投げ捨て防止策を考えましょう。 ○自治会・町内会で定期的に一斉清掃を実施しましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に広報紙を発行し, 住民に積極的に情報提供をしましょう。 ○高齢者団体などの諸活動を広報し, 先進事例を紹介しましょう。 ○地域にあるさまざまな組織や団体の情報を共有し, つながりを強めましょう。 ○自治会・町内会単位で人材を推薦するなど, 地域のリーダーを発掘しましょう。 ○コミ協, 自治会・町内会の役員に女性を積極的に登用しましょう。 ○若い世代が参加できるイベントなどを実施し, 若い人材を発掘しましょう。 	

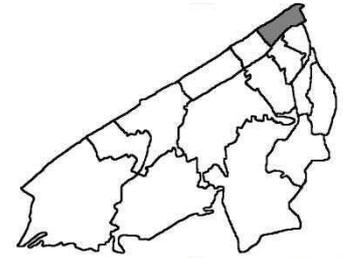
☆検証方法

<p>【住民アンケートの実施】 アンケートを実施し, 自治会・町内会の役員で検討を行います。</p>

青山小学校区コミュニティ協議会

【地域の特色】

- ◇南東に西大通り（旧R116）、北西は松林に続く日本海、東には関屋分水と自然の景観に恵まれている。
- ◇新潟地震前後に砂丘地が開発され建築された住宅と、近年続々と誕生しているマンションなどの集合住宅から成り立っている。
- ◇有明福祉タウンという、福祉ゾーンがある。



- **人口** 7,887人 ➤ **世帯** 3,626世帯
 - **14歳以下** 892人（11%） ➤ **65歳以上** 2,455人（31%）
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より（14歳以下はH26.5.2現在）

☆地域別座談会の開催状況（会場：西区役所）

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月29日（金）14:00～	人
第2回	平成26年9月25日（木）14:00～	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・高齢者・子どもが気軽に集合できる場所が不足しているため、地域のコミュニケーションも不足している。だれもが気軽に集まれる場が身近にあるとよい。
- ・地域で各種行事を行っているが、参加者が少ない場合もある。
- ・隣近所との交流が少なく、活動に困る。
- ・自治会などの役員になり手が少なく、役員選出に苦勞している。また、地域のボランティアが減少してきている。
- ・ひとり暮らしの高齢者が増え、高齢者ばかりの隣組になって将来が不安である。高齢者を地域で見守る体制が必要である。
- ・災害時における自治会・町内会、個人の役割を明確にする必要がある。
- ・要援護者への災害時の対応はどうしたらよいか。自治会として検討する必要がある。
- ・子どもどうして安全に遊ぶ環境が整っていないため、いつも親、保護者が付き添っている状態。セーフティ・スタッフの拡大が必要である。
- ・松林へのごみの不法投棄が多い。
- ・空き家や空き地が増え、安全管理や雑草の処理に困っている。

☆地域で行われている取り組みの紹介

【有明ふれあい夏祭り】

有明福祉タウンで夏祭りを開催しています。お祭りステージ、露店、健康福祉コーナー、フリーマーケットなど7コーナーを開設し、地区住民の参加でにぎわっています。

【関屋分水路の花文字植栽】

関屋分水路堤防に花文字の植栽を行い、終了後は豚汁を食べて親睦を深めています。

【地区交流活動】

- | | |
|-----|--|
| 通年 | 世代間交流事業として、地域の茶の間「和みの部屋」を実施 |
| 9月 | 75才以上を対象に 、浦山地区ふれあいの集い、有明地区ふれあいの集いを実施 |
| 9月 | 浦山地区及び有明地区に分かれて防災訓練を実施 |
| 10月 | 青山コミハウス・青山小学校・有明福祉タウンと連携し文化祭を開催 |
| 12月 | 歳末もちつき大会 2月 豆まき大会 |

☆地域の目標, 将来像

共助・共生 活気と温もりのまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

(※) はすでに実施, 組織化されているもの

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	○交流拠点の充実を図る。 児童、障がい者、高齢者 など地域住民の交流の場 としての茶の間の充実を 目指す。	○既存の茶の間との連携強化 有明福祉会館、青山コミュニティセンター、 マナの家、個人宅など7か所 (※) ○新たな茶の間の開設に向けた活動の展開 空き家、空き店舗の活用を図る。
	○日常生活における助け合 い活動の強化を図る。	○助け合い組織の確立 ○地域に根差した活動の展開
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	○災害時における対応の強 化を図る。	○自治会、民児協などとの連携強化 ○青山小学校との連携強化 ○防災訓練の継続実施 有明自治協、浦山自治協 (※)
	○防犯活動の展開	○防犯パトロール体制の強化
	○日常の見守り活動の推進 認知症高齢者や幼児・児 童などの見守り活動の充 実を図る。	○茶の間の充実と拡大 ○自治会、民児協、PTA など地域組織団体との協 力体制の強化 ○セーフティスタッフへの協力 ○友愛訪問活動への協力 (※) 取組自治会への協力拡大
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	○有明福祉タウンとの共生 を図る。	○施設及び地域防災訓練への参加協力 (※) ○福祉タウンとの連絡会、懇談会の開催 (※) ○有明福祉会館の活用 (※) ○有明福祉タウン行事への参加協力 (※)
	○地域交流のためのイベ ント開催	○有明ふれあい夏まつりの共同開催 (※) 有明福祉タウンとの合同行事 ○世代間交流事業への援助協力 (※) そうめん流しの実施 ○有明地区ふれあいの集い、浦山地区ふれあいの 集いの実施 (※) ○環境整備活動への援助協力 (※) 関屋分水清掃及び花文字活動など
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	○有明福祉タウンとの情報 共有	○施設の広報誌などの配布・回覧 (※)
	○情報共有のための地域 ネットワークづくり	○自治会、民児協、高齢者・障がい者団体などの 地域団体をはじめ、コンビニ、郵便局、薬局、 新聞販売店などとの連携強化
	○広報紙（情報紙）の発行	○コミ協だよりの活用 (※) ○掲示（各種店舗の掲示コーナーの活用）

☆検証方法

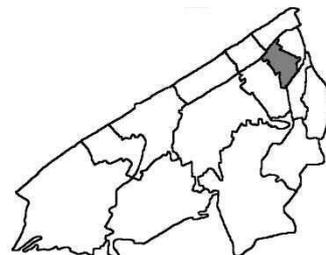
【コミ協での検証】

年1回, コミ協での話し合いで検証します。

小針小学校区コミュニティ協議会

【地域の特色】

- ◇小針駅，青山駅を中心に開発された地域である。
- ◇主に住宅地域が多く，マンションも増加している。
- ◇小・中学校の学級増と老人世帯の増加が同時に進んでいる。



- **人口** 11,562人 ➤ **世帯** 4,792世帯
 - **14歳以下** 1,662人 (14%) ➤ **65歳以上** 2,713人 (23%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下は H26.5.2 現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:西区役所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月29日 (金) 14:00~	人
第2回	平成26年9月25日 (木) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・集会場がなく，会合を地域外で開いている自治会・町内会がある。
- ・コミュニティセンターの使用手続きが煩雑で，気軽に利用できない。
- ・公民館のスペースが限られ，自治会・町内会が思うように利用できない。
- ・新ごみ制度の定着について課題がある。
(分別区分の周知，ごみカレンダーの改良，ごみ出し支援の必要な住民，ごみ出しマナー)
- ・ひとり暮らしの住民が増えている。
- ・以前は町内で集える行事があったが，現在は近所の交流も減り，寂しい。
- ・自治会，町内会役員の引き受け手がいない。半年か1年の交代制の地区もあり組織が衰退している。
- ・災害時の町内での横の連絡がほしい (特に高齢者)。
- ・避難場所が低い場所にあり，災害時に避難できるか心配。
- ・ごみステーションでごみを食べ散らかすカラスや蚊などの害虫が，衛生上の問題となっている。
- ・以前からの商店街で店舗が減り，特に高齢者で買い物に不便な住民がいる。
- ・取り壊されず放置された空き家が見受けられる。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【元氣いきいき教室】

コミ協福祉部会が主催し，地区の高齢者を対象に体操や講演など，健康増進のための活動が定着しつつあります。

【七夕まつり・こぼりっこ新春かくし芸大会】

地域ふれあいサロンと共催で毎年7月と1月に小針青山公民館で開催し，三世代の交流を深めています。

【防災組織づくり研修会】

自治会単位の実際に機能する防災組織づくりを目指して，勉強会を開いています。

☆地域の目標, 将来像

あいさつでとものつくる 元気で安全なまち

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○各地区で老人クラブの入会をすすめましょう。 ○自治会館がない地区の集会場所の確保をすすめましょう。 ○自治会・町内会行事の参加を呼びかけ, 地域の交流をすすめましょう。 ○各団体の情報を提供しあいネットワークをつくりましょう。 ○ひとり暮らしの高齢者への「ふれあい交流」をすすめましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○元気いきいき教室「ウオーキング」の実施 ○小針納涼大会への参加 ○地域包括支援センター主催のお茶の間「らっくり」の定期開催
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯に関する講習会を開きましょう。 ○自主防災組織の結成と拡充をすすめましょう。 ○地域の防災力を高める訓練を充実させましょう。 ○回覧板で, 町内の避難所を知らせましょう。 ○災害時のコミ協, 自治会・町内会, 自主防災組織の役割を明確にしましょう。 ○地域で交通安全の対策をすすめましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校・各自治会との合同防災訓練の実施 ○防犯教室の実施 ○防災マップの作成
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみステーションの美化に努めましょう。 ○高齢者のごみ出しを隣近所でも支援しましょう。 ○新しい公園を整備するために, 自治会・町内会でできることを検討しましょう。 ○路上駐車の防止を呼びかけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○西区一斉クリーンデーへの参加
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会で掲示板を作り, 情報を伝えましょう。 ○コミ協, 自治会・町内会の活動内容をPRし, 組織を強化しましょう。 ○自治会・町内会の役員に選ばれたら, できるだけ長く協力しましょう。また, 女性を積極的に選任しましょう。 ○人材育成講座を開きましょう。 ○PTAや自治会・町内会により多くの若い世代の参加をすすめましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ふれあいサロン主催の「七夕まつり」, 「新春かくし芸大会」の実施 ○小針小スポーツ振興会主催の「餅つき大会」への参加

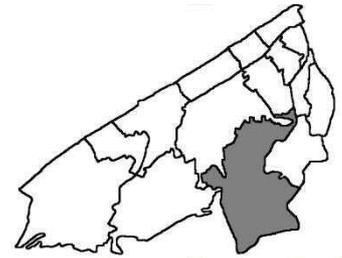
☆検証方法

<p>【ワークショップを開催】 コミ協が地区の班長を含む地域住民を集めてワークショップを開催し, 検証します。</p>

黒埼南ふれあい協議会

【地域の特色】

- ◇田畑などの農地が多く、「黒埼茶豆」などの生産が盛んである。
- ◇緒立遺跡や緒立温泉がある。
- ◇平成16年に木場、黒鳥、板井の3小学校が統合、黒埼南小学校が新設された。黒埼地区では最も面積が大きいコミ協である。



- **人口** 4,071人 ➤ **世帯** 1,270世帯
 - **14歳以下** 403人 (10%) ➤ **65歳以上** 1,175人 (29%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下はH26.5.2現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:黒埼出張所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月26日(火) 14:00~	人
第2回	平成26年9月30日(火) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・高齢者世帯は、除雪車が通過した後の除雪が大変。
- ・地区の敬老会があったらよい。
- ・地域において、広く3世代で話し合いをする場を設けたらよいと思う。
- ・若い世代の人が少なく、何かあったときのことを考えると心配。
- ・農村部は町部と比較して、農作業などで時間的な余裕がなく、高齢者や子どもに対応する機会が少ない。
- ・世代の違いによる考え方の違いからか、子どものしつけに関してトラブルになることがある。
- ・外で遊ぶ子どもの姿を見なくなった。安心して遊べる場所があるとよい。
- ・近所同士でのあいさつがなくなってきている。
- ・ごみ出しの方法が変わり、良くなった面もあるが、マナー違反も見受けられる。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【健康づくり事業実施】

風景と会話を楽しみながら地域を歩くウォーキングを実施して、普段の運動不足解消と健康づくりに役立てています。

【早寝早起き朝ごはん推進事業】

ふれあい協議会とPTA、市生涯学習センターなどが協働で、子どもに“早寝早起き”、“朝ごはん”の大切さを広めるため、笹団子づくりやレクリエーションなどを行っています。

【地域交流事業】

地域住民のふれあいの場として、芸能発表会や収穫祭などを実施しています。

☆地域の目標, 将来像

大人と子どもが安心して暮らせる地域づくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○各地区の集会所や公民館などを活用し、だれもが気軽に参加できる機会を増やしましょう。 ○地域の茶の間など開催し、多世代交流の機会としましょう。 ○クリーン作戦, 収穫祭, 運動会, 敬老会などの各種行事を活発に行い, 住民や地域の各種団体, 事業者などとの地域交流のきっかけにしましょう。 ○地域であいさつ運動を行いましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の高齢者を見守るために, 隣近所で声を掛け合いましょう。 ○まめっこクラブの活動を通して, 子どもの見守り活動を行いましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの分別方法やごみ出しのルールを周知徹底しましょう。 ○高齢者のみの世帯での除雪作業は, 隣近所で協力して行いましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で活動する各種団体の活動内容や連絡先などを広く周知しましょう。 ○自治会の活動を, 回覧板などを活用し積極的に住民に知らせましょう。 ○地域の要支援者を, 地域でささえましょう。 ○いろいろなボランティアを増やしましょう。 ○ボランティア活動が活発にできるような環境をつくりましょう。 	

☆検証方法

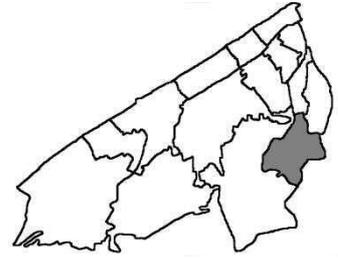
【住民アンケートの実施】

年1回実施。アンケート後にコミ協で話し合いをして検証します。

大野校区ふれあい協議会

【地域の特色】

- ◇中ノ口川の河口に位置し、河川交通の要衝として発展してきた地域。
- ◇旧黒埼町の中心部で、商店や公共施設が多い。
- ◇小平方地区、金巻地区では「黒埼茶豆」の生産が盛んである。



- 人口 9,005 人 ➤ 世帯 3,406 世帯
 - 14歳以下 1,053 人 (12%) ➤ 65歳以上 2,531 人 (28%)
- ※H26. 3. 31 現在住民基本台帳より (14歳以下は H26. 5. 2 現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:黒埼出張所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月26日(火) 14:00~	人
第2回	平成26年9月30日(火) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・自治会・町内会の集会場がない。
- ・敬老会がなくなったので、寂しい。
- ・子どもが安心して遊べる公園などの場所が少ない。
- ・近隣とのつながりが希薄になっている。
- ・小学校PTAの地域活動が少なくなっている。
- ・自治会・町内会で要援護者の情報を把握することが難しい。
- ・公共の施設は必ずしも障がい者にやさしい施設になっていない。
- ・ごみ出しのルールを守らない人がいる。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【近郷少年相撲大会】

黒埼まつりの期間中に大野町諏訪神社境内相撲場で「近郷少年相撲大会」を毎年実施しています。

【諏訪町ボランティア会】

「諏訪町ボランティア会」という高齢者支援グループがあり、「諏訪町いきいきサロン会」を開催しています。

町内の高齢者が参加し、茶話会、昼食会や歌、紙芝居、笹団子づくりなどの活動を行っています。

【にいがたっ子☆スペースくろさき】

子育てに関心のある人が、黒埼健康センター内で毎週火曜日午前10時から午後1時まで、未就学児とその保護者を対象に親子の居場所づくり事業を行っています。

子育ての不安や悩みを相談したり、子育てを通して友だちをつくったりでき、子どもが安心して集うことができる場所になっています。

【金巻なかよし会】

毎月第2、第4水曜日に金巻公民館で、講師を招いての講習会、紙芝居や朗読会、太極拳などの地域の交流の場を開催しています。

☆地域の目標, 将来像

子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、 つながりのあるまちづくり

☆基本目標, 行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい、 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会が中心となって世代を超えた人たちが集える場をつくりましょう。 ○サークルや団体同士が交流できる行事を行いましょう。 ○集会所や公民館は今ある施設を有効活用するとともに、他の自治会・町内会施設なども借用できるようにしましょう。 ○自治会内の有志やサークル活動などを自治会・町内会で支援する仕組みをつくりましょう。 ○近所同士のあいさつや声かけを積極的に行いましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動や散歩しながらのパトロールなどを行い、子どもや高齢者の見守り活動を積極的に行いましょう。 ○要援護者について、民生・児童委員だけでなく自治会・町内会でも把握しましょう。 ○早期に自主防災組織を立ち上げ、定期的な会合などにより、防災意識を高めましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会が中心となって、地域環境の美化運動などを積極的にすすめましょう。 ○ごみ問題、下水問題は問題が大きくならないうちに地域で対処しましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会の広報活動を活発にし、地域行事の宣伝を積極的に行いましょう。 ○区役所や区社協、地域の各種団体などと情報交換を行い、連携を密にしましょう。 ○自治会・町内会が主体となり年代ごとのリーダーを発掘・育成しましょう。 ○PTAと連携した地域全体で子どもの健全育成をすすめる環境をつくりましょう。 ○障がいがある人でも地域活動などに協力できるような環境をつくりましょう。 ○個人の特技を活かしたボランティアができる仕組みをつくりましょう。 	

☆検証方法

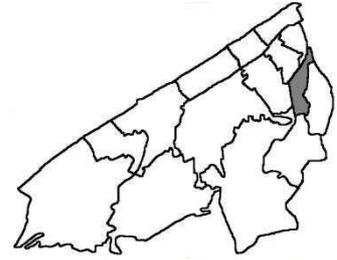
【アンケート調査の実施】

年1回、アンケート調査を実施し、福祉部会で集約の上、ふれあい協議会（福祉部会）の会議で検証します。

立仏校区ふれあい協議会

【地域の特色】

- ◇田園に住宅団地が複数建設され古くからの地域と混在している。約2,600世帯が居住。
- ◇高速道やバイパスのインターチェンジが整備され、交通の要所である。
- ◇大型店舗や総合病院がつくられ、生活の利便性がよい。



- **人口** 6,687人 ➤ **世帯** 2,607世帯
 - **14歳以下** 1,044人 (16%) ➤ **65歳以上** 1,385人 (21%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下は H26.5.2 現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:黒埼出張所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月26日 (火) 14:00~	人
第2回	平成26年9月30日 (火) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・用水路に魚がいるなど自然が残っており、花を植えている家も多く、生活環境・住環境に恵まれている。
- ・老人クラブの活動が充実している。
- ・子ども(小学生)と高齢者、また高齢者同士の接点や交流の場所が少ない。
- ・障がい者の作業場が近くにあってほしい。
- ・公民館などを利用したいと思ってもふさがっている場合が多い。
- ・他の自治会との交流が少ないため、その様子や活動内容などが分からない。
- ・若い勤労者が多く、要介護者や障がい者への災害時の対処が難しい。
- ・自治会の会長や役員のみ手がない。
- ・公園清掃の参加人数が少ない。
- ・ごみの分別方法について、特に高齢者に対して周知徹底できていない。
- ・通り抜けの車からステーション、道路、堤防などにごみが不法投棄されている。
- ・通学道路として造られた道を、車が我が物顔で通っている。
- ・自家用車がなければ思う所へ行くことができない。特に高齢者が大変である。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【ふれあい協議会防災部会の設置・協議会広報誌の発行】

平成19年5月の校区防災訓練後、当初からの健康福祉、生活環境、教育文化、生涯学習、広報の計五部会に加え、平成20年9月に防災部会を新設しました。

広報誌は年6回発行。そのほかに地域の行事を『写真の広報』として子どもたちの活動をアピールしています。

【夜まわりの実施】

自治会で役員、子ども会が中心となって夏・冬に各1ヵ月間、毎週土曜日に夜まわりを実施し、通学路などの安全確認と防犯に努めています。

【夏祭り等の町内行事】

各町内で**夏祭り行事**を開催。そのほかに餅つき大会(ときめき4丁目)、バーベキュー大会(寺地中)などが催されています。

☆地域の目標, 将来像

住民同士がつながり支え合い, 住民参加によって 低コストで充実した暮らしのできる安心・安全なまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい, 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○立佝小ワンダーランド開催日に, 地域の高齡者からも参加してもらいましょう。 ○老人クラブの活動に, 子どもたちも参加できるイベントを設けましょう。 ○親子の居場所づくりをすすめましょう。 ○集会所, 公民館, 公園などを気軽に利用できるようにして有効活用を促進し, 地域住民の憩いの場としましょう。 ○ペットボトル回収箱などの皆が共有できるものを通じ, ふれあいのきっかけづくりとしましょう。 <u>○清掃活動等も地域のふれあいの場として多くの人に参加を呼びかけましょう。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○立佝ふなっ子 ○地域の公園清掃等
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○各自が隣近所とのコミュニケーションを密にし, 特に高齡者や子どもたちへの声かけを積極的に行いましょう。 ○セーフティ・スタッフの増員を図り児童の安全を推進しましょう。 ○夜まわりを年間を通じてできるような体制づくりを協働してすすめましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通学時交通指導の実施 ○生活環境部会による定期的な点検活動
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの分別・出し方について高齡者にもよく分かるよう広報に努めましょう。 ○区バスの利用促進や増便に向け, 積極的に働きかけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会毎に応じたチラシの作成配布 ○Qバス入会促進
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が自治会の活動・行事に積極的に参加し, 住民同士のコミュニケーションを深めて情報の共有を図りましょう。 ○昼間在宅者による情報共有や連携の仕組みづくりをすすめましょう。 ○若い世代や子どもたちに積極的に働きかけ, 早い時期から地域活動・福祉活動に参加を呼びかけましょう。 ○自治会役員などに積極的に女性を登用しましょう。また女性も積極的に参画しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い年代層を対象とした, 餅つき大会等の交流イベントの実施

☆検証方法

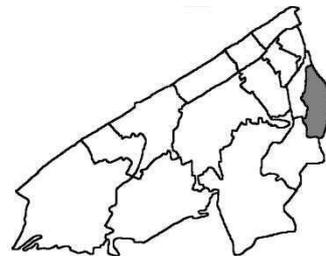
【住民アンケートの実施】

コミ協や自治会・町内会が主体となり, 無作為抽出した住民を対象に実施します。アンケートの内容の検討や作成は区役所と協力して行います。

山田校区ふれあい協議会

【地域の特色】

- ◇地域の中心部を通る国道8号線沿いには道の駅をはじめ、ふるさと村、大型小売店舗、事業所などが集中している。
- ◇近年は、マンション建設や団地造成により人口が増加傾向にある。
- ◇親鸞上人の焼鮎の伝説が伝わる地区である。



- 人口 7,438人 ➤ 世帯 2,931世帯
 - 14歳以下 1,284人 (17%) ➤ 65歳以上 1,285人 (17%)
- ※H26.3.31 現在住民基本台帳より (14歳以下はH26.5.2 現在)

☆地域別座談会の開催状況 (会場:黒埼出張所)

回	日時	参加人数
第1回	平成26年8月26日 (火) 14:00~	人
第2回	平成26年9月30日 (火) 14:00~	人

地域別座談会の写真

☆地域の現状と課題

- ・高齢者の一人暮らしや高齢者のみの家庭が増えてきている。
- ・高齢者が集まってお茶を飲んだり、話ができる場所があるが少ない。
- ・子どもたちが外で遊ぶところが少ない。
- ・子どもたちを不審者から守るセーフティ・スタッフなどの体制強化が必要である。
- ・ごみの分別方法がわかりにくいため、分別が不十分である。
- ・地域で支える福祉の支援が必要である。
- ・住民参加の福祉の実現が重要である。
- ・電車線の跡地利用計画はどうなっているのか。早く整備する必要がある。
- ・防災訓練は住民の全員参加をうたい文句にしているが、参加者が少ない。参加者が増えるよう対策をする必要がある。
- ・通学路の安全確保が必要。
- ・公園が15か所あるが、あまり利用されていない。

☆地域で行われている主な取り組みの紹介

【山田甚句】

地元に伝わる山田甚句を受け継ぐため、保存会が中心となり活動をしています。

【紙芝居】

山田小学校において、学校開放日に地元の民話や伝説などを紙芝居を通じて子どもたちに伝えていきます。

【地域交流活動】

囲碁、将棋、オセロ、ビンゴ、ゲートボール親子大会やふれあい健康教室、クリーンアップ活動、校区内の神社の春・夏まつりへの積極的な参加などを通じて、地域の交流、親睦を深めています。

☆地域の目標, 将来像

子どもと高齢者が安心して暮らし、 住民どうしのつながりで支えあえるまちづくり

☆基本目標と行動目標, 具体的な取り組み

基本目標	行動目標	具体的な取り組み
1. 私たちが支えあい、 助け合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもと高齢者, 地域の人たちの居場所づくりに学校施設, 公民館, 憩いの家などを利用しましょう。 ○子どもや高齢者の交流会を開催しましょう。 ○高齢者が気楽に参加できる場所を自治会ごとにつくりましょう。 ○子どもの居場所を確保しましょう。 	
2. 安心・安全に 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○防災, 救護訓練は繰り返し実施しましょう。 ○地域見守り隊を結成し, 危険個所など地域の定期的な見回りを検討しましょう。 ○自治会・町内会の広報活動の強化により, 防犯・防災意識の啓発を図りましょう。 ○セーフティ・スタッフの体制を強化しましょう。 	
3. 健やかでいきいきと 暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ分別講座を開催し, ごみ出しルールの意識向上や不法投棄の防止に努めましょう。 ○電車線跡地のクリーンアップ活動を実施しましょう。 ○月1回程度, 自治会・町内会内の点検, 清掃を実施しましょう。 ○公園で子どもたちが遊べる環境を検討しましょう。 	
4. みんなで暮らしを 支える情報の共有と ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会で地域の課題や情報を周知しましょう。 ○高齢者の孤独感, 悩みに対する相談支援者をボランティアで配置し, 自治会・町内会の公民館などで相談会を積極的に進めましょう。 ○定年退職した人の活用を図りましょう。 ○あらゆる機会を通じて, 人材の発掘に努めましょう。 ○地域の子ども祭りなどを活用し, 子育て家庭の若い世代とのコミュニケーションを築きながら, ボランティアを発掘しましょう。 	

☆検証方法

【住民アンケートの実施】

ふれ協で年1回住民アンケートを実施し, ふれ協会議で検証する。